



市長とランチミーティング ②6

沖夢紫のブランド化を目指して！

第26回「市長とランチミーティング」は8月27日(月)に「石垣島甘しよ生産組合」の皆さんと行われました。

中山市長 本日は「市長とランチミーティング」にお申し込みいただきありがとうございます。沖夢紫(紅芋)のブランド化に取り組んでいる事は前から聞いていますので、みなさんの取り組みや意見を伺いながら石垣市の新しい特産品開発のアイディアなどについて話し合えればと思っています。

【石垣市における沖夢紫(紅芋)のブランド化について】

中山市長 現在島内で生産が盛んな地域はどのあたりですか？

会員 大浜地区や宮良地区が最近では生産が盛んな地域になっています。徐々に全域に広がってきています。二次加工をお願いしている南風堂さんからは年間120トン必要だと言われていますが、実際は47トンくらいしか生産が追いついておらず、供給が間に合っていない状況です。宮古島市が最近一気に紅芋のブランド化に力を入れ始めていますので、石垣は置き去りにされています。

宮古島市は昨年から行政主体でブランド化に力を入れはじめ、生産組合も立ち上げて加工設備や種苗場なども一括交付金で整備したそうです。石垣市も今後本格的にブランド化を進めていかないとはいけなと感じています。



会員 私たちも紅芋のブランド化に向けて既に動いていて、目標にしているのが種子島の安納芋です。生芋で1本1500円もするブランド芋です。石垣島でも沖夢紫の生産を特化させて二次加工も含

めて付加価値を付けてブランド化を進めて行きたいと考えています。ブランド化に向けて生産者や加工業者と一緒に取り組んでいます。紅芋は県内では読谷村が代表的な生産地で、久米島、八重瀬町、宮古島、久米島それぞれ力を入れていて、二次加工する県内企業もバックアップ態勢がしっかりしています。つまり生産者が安心して生産できる態勢になっています。

会員 県内で既にブランド化を先行している地域に対抗するために、我々が取り組んでいる沖夢紫という品種の品質をどう維持していくか、どう減病していくか、どう加工していくかというのが課題になってくるので、そういう面を農政経済課にバックアップして頂きたいと思っています。ブランド化を進めて行くにあたっては病害虫の根絶に取り組んで行かなければいけないと思います。現在、病害虫が発生した場合は各農家で処分しているのが現状ですが、それでは病害虫の広がりは防げないので、一カ所に集めて焼却できる場所を提供して頂けないかと思っています。例えばゴミ焼却場など利用できませんか？

中山市長 廃棄するのではなくてバイオエタノールとして活用できるのでは？

会員 県内ではヘリオス酒造さんが紅芋焼酎に加工しています。

中山市長 病害虫に冒された物を飲み物にするのは、あまりイメージが良くないので燃料としてならバイオエタノールに加工する方法がいいんじゃないかと思っています。





会員 やはり、まずは地元の人が**沖夢紫**を知って、その**沖夢紫**で作ったお菓子がある事を知ってもらって、本土に遊びに行くときは**沖夢紫**の加工品をお土産に必ず持って行くくらいの商品にしないとブランド化したとは言えないと思うので、行政も含め島全体での取り組みができたらいいなと思っています。

会員 昨年、石垣島まつりの時に石垣島を訪れていた台湾のバイヤーの方が紅芋に非常に興味を示していたという話を聞きましたので、台湾や中国、アジアでも人気の商品になる可能性もあります。



【種苗場の必要性について】

会員 現在、**沖夢紫**の種苗の配布の方法として、各農家さんが新規の植え付け希望者へ種苗を提供している形を取っています。一度に多くの種苗を提供出来ないことが課題になつていきますので種苗配布専用の施設がないといけないなと感じています。

農政経済課長

現在のような農家間での種苗の取引の仕方では品種の混在が懸念される場所です。みなさんが**沖夢紫**を加工用として生産していくのであれば、誰に種苗を分けたのかをきちんと把握しなければなりません。

会員 おっしゃるとおりで、登録農家制にして誰が誰にどのくらい分けたのかを確認できるようにする事は大切ですね。

会員 現状からすると15アール程度の種苗場が必要で、常時種苗を配布できる状況に持つて行かないと二次加工に必要な需要量を確保するのは難しいと思いますので、安定した種苗の確保が出来る方法を一緒に検討していただければと思います。

【商工業との連携について】

会員（加工業者） 現在、**沖夢紫**で作ったお菓子、タルト、パイ、モンブランの3商品を展開しているところです。やはり、お客様の意見としては石垣で取れた食材で石垣島で加工された商品が欲しいという声が多いので私たちも日々商品開発に力を入れていきます。



沖夢紫の商品については本土からの問い合わせも多く、力タログ販売の話などを頂いているのですが、やはり原料である芋の確保が十分でないため、ご遠慮いただいている現状です。現在販売している3商品は売れ行きもかなり良く、本土の方に人気の商品です。今後必ず伸びていくブ

ランドだと思っています。

商工振興課長

沖夢紫は石垣島だけで生産できるわけではなく、他の地域でも生産する事ができるし、他の紅芋と一緒にじゃないの？と思われる事もあると思うので、石垣島で生産された**沖夢紫**はコレ！というような愛称を付けるといいのではないのでしょうか？そうすると色々な場面でPRし易いでしょうから、他と差別化してブランド化して頂いた方がうまくいくと思います。

会員

実は石垣島で取れる**沖夢紫**は沖縄本島で取れる**沖夢紫**よりも美味しいと、県の農業関係者の方も言っていて**沖夢紫**の栽培に適している地域なのではないかと言われています。

中山市長

様々な意見がありがとうございました。**沖夢紫**のブランド化は農家のみなさんの所得向上に繋がるものだと思いますし、宮古島に負けないようにみなさんと一緒になって頑張っていこうと思っております。本日はありがとうございます。